

## 特別支援教育コース 平成30年度修士論文発表会2

日時：平成30年4月14日（土） 9:00～14:22（予定）

場所：特別支援教育実践研究センター2階研修室

9:00- 9:03 開会の挨拶（笠原先生）

No.	発表時間 (発表7分+質疑5分)	氏名	論文題目	担当教員
1	9:03- 9:15	神戸 昂多	家庭における自閉症スペクトラム障害児の要求行動の形成	村中智彦
2	9:15- 9:27	楠浦 舞子	居住地校交流における活動内容設定と内容設定プロセスに関する調査研究	笠原芳隆
3	9:27- 9:39	永井 桃代	視知覚認知に困難を有する児童を対象とした予習に基づく読字・書字指導	八島猛
4	9:39- 9:51	中上 ほなみ	聴覚障害幼児の語音聴取に発話速度と読話が及ぼす影響について	小林優子
5	9:51-10:03	橋本 真央	新任期の通級担当教師における自立活動の指導に対する意識に関する研究	藤井和子
6	10:03-10:15	菱 拓夢	脳室周囲白質軟化症の1生徒を対象とした自己効力感を高める学習支援	八島猛
	10:15-10:30	休憩		
7	10:30-10:42	福田 幸久	ASD児者における向社会的道德判断に関する調査研究	八島猛
8	10:42-10:57	佐藤 懸斗	視覚障害児の美術教育における鑑賞の評価について	佐藤将朗
9	10:57-11:09	安立 知洋	新任期の肢体不自由特別支援学校教員の自立活動における困難さと学びに関する調査研究	笠原芳隆
10	11:09-11:21	神喰 由紀子	新潟県高等学校における発達障害のある生徒への合理的配慮に関する調査研究	河合康
11	11:21-11:33	笹川 美智	通常学級に在籍する児童のADHD 特性と実行機能及び適応行動との関連	池田吉史
12	11:33-11:45	佐脇由佳子	中学生を対象とした多感覚構造化学習アプローチによる英語音韻意識の指導が英単語読み能力に及ぼす効果	池田吉史
	11:45-13:00	休憩		
13	13:00-13:12	武田 典子	知的障害児のリズムパターン同期におけるテンポの影響	村中智彦
14	13:12-13:24	中釜 美咲	重度・重複障害児とのコミュニケーションにおける教師の読み取りとその活用に関する調査研究	笠原芳隆
15	13:24-13:36	野口 真衣	漢字の読み書きに困難を有する1生徒を対象とした学習支援の効果	八島猛
16	13:36-13:48	久野 智宏	自閉症スペクトラム障害児の相互交渉における援助行動	村中智彦
17	13:48-14:00	引場 陽子	通級担当教師に対する通常学級教師との協働による個別の指導計画作成支援の実践的検討	藤井和子
18	14:00-14:12	和田 智秀	児童の認知特性を踏まえた学習支援に関する事例的研究	池田吉史

14:12-14:22 講評（笠原先生）

問い合わせ 特別支援教育コース 佐藤研究室 025(521)3379 smasaaki@juen.ac.jp